

城北中学校・高等学校 (男子校)

技術と心を磨いていく 必修のヴァイオリン授業

伸びのびと学べる環境のもと、1人ひとりの人間力を高める指導が人気の城北中学校。新たに中3でヴァイオリンの授業が必修となり、生徒は日々、上達をめざして練習に励んでいます。音楽科の前田昂人先生に、取り組みについてお話をうかがいました。

仲間との学びあいが 新たな成長をもたらす

生徒の好奇心を刺激する多彩な授業で、確かな学力と豊かな感性を育てる城北中学校(以下、城北)。2022年度から、中3の音楽で週1時間「ヴァイオリン」の授業が必修となりました。

導入の経緯について、音楽科の前田昂人先生は「本校の音楽の授業はこれまで、リコーダーをはじめ三味線やギターなど、色々な楽器に触れる機会を設けることを大事にしてきました。新たに学習の幅を広げて

いくにあたり、私自身、自分が専門の1つとして体得している楽器を生徒に教えてあげたいという気持ちがありました。そこでヴァイオリンならではの交えながら、より深く指導ができるのではないかと考えたんです」と話されます。実体験をもとにつまずきやすいポイントを把握する教員がいるからこそ、初学者への指導が可能となっているのです。

また、必修授業のよさは、ほとんどの生徒が未経験から横並びでスタートを切れること。たとえ音楽に苦手意識があったとしても、仲間と前向きに取り組みややすい環境です。

現在、城北には50挺のヴァイオリンがあり、1人1挺を使って練習します。年間の授業は楽器の扱い方から始まり、正しいフォームを身につけたあとで実際の演奏へと移っていきます。

「楽器の持ち方1つにしても、生徒は好奇心から理由を知りたがりますので、小さな疑問にもしっかりと答えるようにしています」と前田先生。弓の動かし方や指使いに注意しつつ、1学期は「きらきら星変奏曲」を練習し、2学期以降は徐々に難度の高い曲にも取り組んでいきます。ヴァイオリンは、弦を押さえる位

置がわずかにずれただけでも音程が変わる難しい楽器。一般的なレッスンは講師と生徒が1対1となることがほとんどですが、授業は1クラス40人に対していっせいにを行います。

「大変な面もありますが、個々の理解度や習得状況には細かく目を配っています。また、生徒同士でペアを作り、お互いの演奏をチェックすることに挑戦してもらっています。

城北には生徒同士で意見を交わしあい、お互いを高めたいこうとする習慣が根づいていますので、ヴァイオリンにおいても、あえて教員が指示をしなくても自然と間違っている箇所を指摘しあえるようになっていきましたね。改めて、彼らの頼もしさを感じました。こうした協働的な学びから、新たな価値や表現方法を能動的に模索する力を身につけてほしいです」(前田先生)

努力を重ねた経験を 将来の糧にしてほしい

2023年度末には、保護者や中3を担当する教員を招いて、1年間の成果を披露する発表会を行いました。合奏は全員が正しい音を奏でるだけでなく、弓の上げ下げがそろっているかも大事なポイント。授業内

の練習ではバラバラだった動きも本番では見事に合い、どのクラスもそれまでを上回る美しい音色を響かせました。来場者からも、上達ぶりを驚く声寄せられたといいます。

前田先生は発表会を振り返り「私は、音楽とは発表してこそものだと考えています。練習している姿はあえて他人に見せるものではないですが、成果を披露するとそこには評価がついてきます。ほめられたら嬉しいですし、たとえネガティブな評価が下ったとしても『次は頑張ろう』というモチベーションにつながります。地道に努力してきたことは、決してムダにはなりません。

これは勉強でも同じだと思えます。生徒にはヴァイオリンの授業を通して、コツコツと真面目に取り組むことの大切さを学んでほしいです。ここで身につけた姿勢を、大学受験をはじめとする、今後の人生を歩んでいくなかでも活かしてもらえたら嬉しく思います」と語られます。

すでに中1や中2の生徒からもヴァイオリンの演奏を楽しみにする声寄せられています。前田先生も「授業への期待の高さを感じています」と顔をほころばせます。ヴァイオリンを必修で習うのは中3の

みですが、希望者は高校進学後の芸術選択で音楽を選ぶと、継続して学習を進めることができます。

こうしたヴァイオリンをはじめと人ひとりの成長を促していく城北。最後に前田先生は「城北の一番の魅力は、様々な経験ができる学習環境があることです。学校生活のなかで多くの挑戦をして、自分の得意なことや、将来進みたい道の発見につなげてください。また受験生のみならず、ぜひ城北の授業を楽しみにしたいと思います」とメッセージをくださいました。多様な学びをもたらす6年間での経験が、城北生たちの未来を広げていきます。

学校説明会 (要予約)
5月18日(土) 6月8日(土)
6月15日(土) 6月29日(土)

校舎見学ツアー (要予約)
5月25日(土) 6月1日(土)
6月8日(土) 6月22日(土)

クラブ見学 (要予約)
5月27日(月) 中学野球部・中学サッカー部

※詳細は事前に学校HPにてご確認ください

授業はクラス全体で進みますが、1人ひとりの様子を確認しながら、フォームを丁寧に修正していきます。教わった内容は、生徒同士のチェックにも活かされます。



「上達の第一歩は、弓を持つ手首の脱力。余計な力が入るといい音が出ない」という前田先生のアドバイスのもと、音程を決める弦だけでなく、弓の扱いにも気を配ります。

音楽科
前田 昂人先生



発表会は校内の講堂にて、クラスごとのコンクール形式で実施。課題曲「きらきら星変奏曲」と自由曲(授業で習ったなかから1曲選択)の2曲を披露しました。

仲間との一体感を感じられるのが合奏のよさ。「初心者だった生徒たちが、みんなで音を合わせられるようになると、私も感動します。1人の演奏では味わえない音の広がりを楽しんでほしいです」(前田先生)

